



時を守り、場を浄め、礼を正す

「時を守り、場を浄め、礼を正す」これ現実界における再建の三大原理にして、いかなる時・処にも当てはまるべし。

この言葉は、教育学者：森信三先生の提唱した学校職場再建の3原則です。

【時を守り】とは時間を守ること。

この意味は、相手を尊重すること。それにより自分が信用を積み重ねること。

【場を浄め】とは掃除をすること。

掃除をすることの意味は、5Kで表され、「気づく人になれる」「心を磨く」「謙虚になれる」「感動の心をはぐくむ」「感謝の心がめばえる」

【礼を正す】とは挨拶をすること、返事をする事。

挨拶の意味は、心を開いて相手に迫るといこと。挨拶をすれば人間関係がよくなり、挨拶をしなければ人間関係が悪くなる。

と、いわれています。この3つは、できているようでなかなかできていない状況にあります。

また、「立腰(りつよう)教育」というのがあります。簡単な言葉で言い換えると「良い姿勢をする」というものです。そのことによって、授業における学びの質を高めていこうというものです。

つねに腰骨をシャンと立てることー
これ人間の根性に入る極秘伝なり。

人間は心身相即的存在ゆえ、性根を確かなものにしようと思えば、まず躰から押さえてかからねばならぬ。

それゆえ二六時中、「腰骨を立てる」以外に、真に主体的な人間になるキメ手はない。

「腰骨を立てる」ことは、エネルギーの不尽の源泉を貯えることである。この一事をわが子にしつけ得たら、親としてわが子への最大の贈り物といってよい。

- 一、腰骨を立て
- 二、アゴを引き
- 三、つねに下腹の力を抜かぬこと

同時にこの第三が守れたら、ある意味では達人の境といえよう。

以前に、「凜とする」という言葉を伝えましたが、この「立腰教育」にも繋がるものです。

「凜とした球陽生」を目指しましょう。



平和資料展 in 図書室

慰霊の日にちなんで毎年取り組んでいる「平和資料展」。図書館便りでも紹介されていましたが、皆さんはご覧になりましたか。毎日のように県内の新聞でも取り上げられ、連載されています。この機会に平和について考えて下さい。

下記の写真は図書室入り口の展示コーナーで紹介されているものです。かなり詳細に飾られています。平和祈念資料館からお借りし資料もあります。



その他、図書室にはたくさんの本が並んでいます。足を運び、本を手に取りめくってみて下さい。新たな発見や出会いがあるかもしれません。SSHへの取組にも繋がると思います。学校の「知の拠点」である図書室へ行きましょう。

PTA第1回総務部会

6月30日(火)第1回PTA総務部会が行われました。コロナ禍の中どうかPTAの活動も始まりました。今年度の役員体制と事業計画について概ね了承されました。

今年度の会長は、大道幹夫様、副会長は、下里尚樹様、大浦美和様、上阪雅英様、宮里美乃様に決定しました。今年度の活動、活躍を期待しています。

会長からは、次の事が確認されました。

1. 生徒たちの思い出作りの下支え
2. SNSでのバトル禁止
3. 内外活動の共有(文書化)

今年一年宜しくご協力をお願い致します。

7月16日(木)・・・第1回PTA評議員会
評議員の皆様、参加をお願い申し上げます。

